

山間地域における防災対策の現場体験と、砂防の意義・役割を学んでいただくために、「キャンプ砂防 in 近畿2013」を開催しました。

7月29日～8月2日にわたり、木津川砂防、紀伊山地砂防、六甲砂防のそれぞれの砂防事業について、2人の学生に学んでいただきました。

## 概要

日時：平成25年8月1日(木)～2日(金)

場所：六甲砂防事務所、八洲嶺えん堤  
(新生田川上流)など

参加人数：2名



はっしゅうれい  
八洲嶺えん堤補強工事



にしゅうわたり  
二十渉えん堤補強工事

## ○六甲山地を歩いて、砂防を体感する

六甲砂防事務所では、風化した花こう岩により土砂災害が度々起こってきた歴史や、急峻な地形のため砂防工事で索道（ケーブルクレーン）を多く用いていること、工事の苦労などを、実際に六甲山地を歩いて体感していただきました。ハイキング道しか無い山の中で、索道によって建設機械やコンクリートなどの資材を運搬し、工事が行われていることに、山地での工事の困難さを強く感じられたようでした。

## ○感想「砂防の仕事の難しさと、やりがい・面白さを感じました。」



「禍福無門」の碑



五助えん堤の説明



閉講式

参加者からは、「砂防事業は、安全・コスト・環境・景観・周辺住民など、非常に細かいところまで意識して多方面から考え、計画しなくてはならないことを、今回一番感じました。また、そこに仕事の難しさと同時に、やりがい・面白さを感じました。」という感想が聞かれました。

### 【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局  
六甲砂防事務所 調査課  
〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15  
TEL：078-851-0535

